

京都大学瀬戸臨海実験所振興会

水族館月報

NO. 132

1963. 8月 (9月10日)

録 事

8月25日 7月の委員会総会で水族館入場料値上げのことが決定。その後の実行会議で値上げ料金の細部を決定。遊帯の各社と交渉の結果、10月15日より値上げを実施することとなる。

8月31日 波瀬美佐代事務員は11月結婚の予定で、準備のため本日限り退職する。満6年の作苦勞を感謝すると共に、将来の作幸福をお祈りする。なお本日17時より寄宿舍で送別会を催す。

業 務 概 況

◎ 8月の入場者数

○ 水族館窓口発売

区 分	大 人	中 人	小 人	小 計	累 計
個 人	10634	774	3500	14908	49956
団 体	7212	603	3024	10839	86611
合 計	17846	1377	6524	25747	136567

○ 交通業者委託発売

区 分	大 人	中 人	小 人	小 計	累 計
明 光 バス	39361	0	4637	43998	200226
自 浜 急 行 バス	6795	0	962	7757	23819
合 計	46156	0	5599	51755	224045

○ 旅行幹旋業者委託発売

区 分	大 人	中 人	小 人	小 計	累 計
日本交通公社	948	0	0	948	8950
近畿日本ツツバ	1036	100	7	1143	6658
日本旅行会	300	0	0	300	1839
南海交通社	56	0	0	56	1297
日本通運KK	95	0	0	95	503
合 計	2435	100	7	2542	19247

合 計	66437	1477	12130	80044	379859
累 計	347607	5428	226824		379859
無 料	224	0	157	381	2016

◎ 8月の事業収入 (今年度累計)

観光券売上金	1,336,752	10,482,789
窓 口 売 上	595,905	3,411,487
明光バス観光券	541,693	6,093,113*
日京急行バス観光券	129,180	476,600
日本交通公社クーポン	24,963	232,993
近鉄日本ツリストクーポン	27,116	168,113
日本旅行会クーポン	7,200	57,558
南海交通社クーポン	8,067	29,391
日本通運KKクーポン	2,628	13,534
絵はがき売上金	128,440	299,730
予 金 利 子	—	720
手 数 料	65,457	325,777
パンフレット掛下	—	—
研究業績掛下	750	750
魚 類 掛 下	10,750	23,950
雑 收 入	340	3,863
諸施設改善積立金より繰入	—	—
合 計	1,542,489	11,137,579

※ 明光バス観光券未収分 @30 3464枚 @27 1122枚
@10 480枚 @9 54枚

◎ 8月の支出

本部経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	33,967	1,970,003	
旅 費	3,660	31,390	
会 費	21,600	46,530	
車 務 費	14,861	1,105,611	Dr. Franklin Dr. Tomlinson 先生接待
福祉厚生費	—	35,390	
社会保険料	—	1,582	
積 立 金	344,947	1,756,196	
合 計	419,035	2,178,652	

水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人件費	290,879	1618,886	
旅費	720	19,340	
事業費	517,697	1310,257	
管理費	—	38,794	
公課及保険費	1,630	82,776	
諸至費	830,235	1327,209	建物借用料使
合 計	1,641,161	4397,262	

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
旅費	40,000	47,820	駐四要費
研究費	5,022	45,622	
助成金	10,000	30,000	
刊行費	355,800	365,300	Publ. vol. II, no. 1
役務費	105,442	105,442	洗刷箱金世修理
合 計	516,264	624,184	

支出合計		(今年度累計)
本部経費	419,035	2,178,652
水族館経費	1,641,161	4,397,262
実験所経費	516,264	624,184
臨時費	—	—
合 計	2,576,460	7,200,098

◎ 8月末現在高

前月よりの繰越	4,971,452
今月の収入合計	1,542,489
今月の支出合計	2,576,460
現 在 高	3,937,481

◎ 前年度との比較

	1963	1962	増 減
入場者数	80044	65619	+ 14425

水族館記事

- ◎ 2日 須磨水族館採集班と田双島、塔島を協同採集を行ない、ツユベラ、ツノダシなど、好魚を得た。
- ◎ 5日 江津良の漁師、中井清太郎氏より、トゲヨウジ(20cm)1個体を受贈、下田水槽に展示した。タツノオトシゴとヨウジウオの中間的な形態、生態をもつものとして、興味ある種類で、その後、生きたホエビ(10~15mm)に餌付さし、元気である。
- ◎ 7日~9日 台風9号の余波のため、開放式各水槽は著しく濁った。
- ◎ 8日 NO28水槽に展示中のエラブウミヘビが行方不明となり、大探したが、遂に見つからなかった。水槽の清掃後、みずかみずれていた蓋のすき間をこじあけて逃げたらしい。
- ◎ 14日 最近、街で流行しているホンコンフワワー(合成樹脂製造花)の葉だけのものを購入し、熱帯受永魚槽と潮間帯模型水槽の兼用を試みた。組合せ方によっては、ほんものの植物におとらぬ効果が期待できる。
- ◎ 18日 新館の卓上水槽は、展示を始めてから1年半余を経て、水槽の硬質塩化ビニール板の透明度が、かなり低下してきたので1部を新たに購入したアクリライト製の水槽と交換した。透明塩化ビニールは、元素、ガラスよりも透明度が高いのに長期間空気と水にふれると、高分子の配列状態が変化して白濁を生ずるらしい。アクリライトは、ガラスよりもむしろ透明度が高く、今のところ、展示の効果は申し分ないが、長期の耐用については、今後の検討にまたねならない。
- ◎ 21日 今月始めに採集したツノダシは、例によつてなかなか餌付さしなかつたが、餌料の種類と寸法をいろいろに変えて、しつように給餌した結果、オキシジミの内の細切れ(1片2mm×3mm以下)をよく撮るようになり、長期飼育の見通しがついた。
- ◎ 24日~26日 昨夏にひきつづき飼育係の潜水訓練を行なった。各人かなり上達したが、実際に潜水採集ができる段階までには、まだかなりの練習を要する。
- ◎ 27日 タカアサガニ1個体(個体番号NO12、入槽当初より歩脚の左右各1が欠損)が死亡。体重は5.3kgで入槽時(6.8kg)にくらべ1.5kg減。
- ◎ 28日 各水槽に外式浄濁槽(100×50×70cmの塩ビタンク4個、濾材はガラス15cm、洗砂(至2~3mm)30cm)を新設。貯水槽C1よりの冷

却海水は、しつたん、二の槽で濾してから給水するように改良した。この結果、G水槽の透明度は冷涼寮新設当時のように向上した。

◎8月の採集作業

日時	採集場所	方法	人員	主な目的
2日午前	四返島、塔島東	タイドプール・潜水	2	隠蔽性小型魚類
3日午前	四返島	底採集	2	エビ、カニ類
10日午前	塔島附近	底採集	2	ウニ類
13日	塔島東暗礁	潜水	3	オニアツダイ類
18日午前	塔島	底採集	1	内帯の貝類
22日午前	船場奥沖暗礁	潜水	3	子ヨウ子ヨウウオ類
23日	富田集落	〃	3	サンゴ類
29日	北浜沖～塔島東暗礁	〃	3	トゲトサカ類、アオヤガラ
31日午前	江津良	底採集	1	カニ、貝類

◎主な採集動物名(★印は1962年4月1日以降はじめての入槽)

無脊椎動物：ヒロードトゲトサカ ★キバナトサカ ハナヤギ ★ヤマダの1種

Achnopora の1種 カメノテ フタバベニツケガニ ホシマンジュウガニ、
トゲアシガニ ムカデメリバ コイボウミウシ ヒオウギ ★アミガサガイ
スナダコ アマウミシダ ナガウニ コシダカウニ シラヒゲウニ

魚類：アオヤガラ ★オオスジヒメジ *Parapomene barbericus* ツマアロアゴナシ
ギンセイイシモチ ★ハクテンハタ ★タマガシラ(の1種) ★コクテントラ
ギス ★サラサギンボ *Ranula kaguchisana* ★ニセクロマスク ホンソ
メロケベラ クロホシベラ ★フウライチヨウチヨウウオ ハタタラダイ
ツノアシ ナガニガ

◎主な購入水族名

無脊椎動物：テナガコブシガニ ガザミ タイコンガザミ アミメノコギリガザミ
テングニシ バイ ヒロガイ

魚類：ゴテンアナゴ ★ギンアナゴ ゴイシウミヘビ モンガラドウシ ハモ
★ブメアジ(の1種) ★イトヒキアジ ★トゲヨウジ コトヒキ ソコイトヨ
リ ムツ キョウセン ★クマサガフク ★コチ コバンザメ

◎8月31日現在、飼育中の動物は、総計334種2683個体以上で、その内訳は次の通り。このうち観覧水槽に収容展示中の動物は、315種2580個体以上。

カイモン類	1種	夕毛類	3種	タコ類	1種
ヒドロ虫類	1	カブトガニ類	1	ウミシジク類	3
ウミトサカ類	2	フシツボ、カメノテ類	6	ヒトデ類	5
ヤギ類	6	エビ類	13	クモヒトデ類	3
ウミエラ類	1	ヤドカリ類	6	ウニ類	10
イソギンチャク類	6	カニ類	23	ナマコ類	6
イシサンゴ類	6	アメフテ類	3	軟骨魚類	6
アナギンチャク類	1	ニ枚貝類	12	硬骨魚類	181
ホウキムシ類	1	巻貝類	23	カメ類	3
		ヒザラカイ類	1		

資 料

◎8月の気象 (09時観測)

オ1水槽室 (水温、比重はNO24水槽)

	上旬	中旬	下旬
晴天日数 15	6	4	5
室温(°C)	<u>27.0~28.2</u> 27.8	<u>27.0~28.0</u> 27.5	<u>26.0~28.6</u> 27.4
水温(°C)	<u>26.60~27.62</u> 27.19	<u>26.62~27.40</u> 27.10	<u>26.60~28.08</u> 27.19
比重(γ5)	<u>24.79~25.01</u> 24.92	<u>24.31~25.08</u> 24.64	<u>24.58~25.24</u> 24.90

新館 (水温)

H水槽(°C)	<u>26.4~27.6</u> 26.9	<u>26.3~27.4</u> 26.8	<u>26.6~28.0</u> 27.3
T8水槽(°C)	<u>27.4~28.4</u> 27.9	<u>27.2~28.2</u> 27.7	<u>27.4~28.6</u> 27.8

取入口

水温(°C)	26.80~28.08 27.46	26.60~27.88 27.31	26.28~29.00 27.75
比重(6-15)	24.82~25.22 25.03	24.11~24.88 24.64	24.49~25.19 24.83

昭和38年9月10日(No.132)

編集兼
発行者

宮地 依三郎

発行所

瀬戸臨海実験所振興会
和可山祭台突町
瀬戸臨海実験所内
(Tel. 白浜温泉 515)